



2017年7月7日(金) 17:45~20:15

北海道庁 赤れんが庁舎(北海道札幌市中央区北3条西6丁目)

北海道では、平成20年7月に開催された「北海道洞爺湖サミット」を契機とし、道民一人ひとりが地球温暖化防止に対する理解と意識を深めるための日として7月7日を「北海道クールアース・デイ」と定め、この日を中心として全道各地で普及啓発を行っております。

北海道庁赤れんが庁舎では、家庭や職場などそれぞれの活動の場において電気照明を消して、ローソクの光の中で、地球環境のこと、未来のことを静かに考えるきっかけとするため「赤れんがガイアナイト2017」を開催しました。

当日は、シンボルである赤れんが庁舎のライトダウン(消灯)を行いました。



ガイアナイトフォーラム(赤れんが庁舎 2階2号会議室)

トヨタ自動車株式会社
三谷和久氏に
CO₂排出量ゼロに向けた取組や
目指す水素社会の実現について、
7月7日に納車セレモニーを行った
燃料電池自動車「MIRAI」(ミライ)に
詰め込まれた最先端技術を交えて
ご講演いただきました。



キャンドル点灯式(赤れんが庁舎 前庭)

キャンドルアーティストによる
手づくりを含む約700個の
キャンドルで、キャンドルアートを
作成しました。

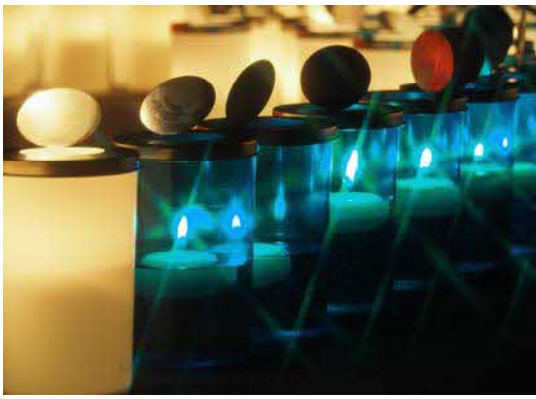
キャンドルアートへの点灯は
ご来場の皆さまにもご参加
いただきました。





2017年のキャンドルアートのテーマは「その先の、道へ。北海道」
道民の方々、北海道訪れるの方々にとって、北海道には様々な可能性が広がっていること、
そして、北海道が未来や世界に積極的に進んでいこうとする動きを、地球の中の北海道から道が広がるよう表現しています。





ガイアナイトコンサート(赤れんが庁舎 前庭)

札幌大谷大学芸術学部音楽学科の皆さまに、キャンドルの優しい灯りの中で、木管五重奏によるガイアナイトにふさわしい素敵な演奏をしていただき、ご来場の皆さまと地球環境に想いを馳せました。

